



食育だより

令和4年3月17日発行

倉敷まきび支援学校 食育係

倉敷まきび支援学校では、各部・部門で食に関するさまざまな取り組みを行っています。
今回は、知的障害部門中学部の活動についてご紹介します。

1年生は、職業・家庭の授業で、赤・黄・緑の食品の栄養素のはたらきについて学習しました。身近な食品をみんなで協力して3色に分類した後、実際の給食に出た材料についても分類し、バランスよく食べることの大切さについて学びました。



2年生は、調理場の見学に行きました。見たこともないような機械や大きな道具を使って、給食を作っている様子に驚くとともに、いつもこんなにたくさんの給食を作ってくださっている調理員さんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。その後、感謝の気持ちをこめて手紙を書き、直接お渡しすることができました。

地域の方に田んぼを提供していただき、中学部3年生で田植え体験をさせていただきました。ぬかるんだ田んぼに恐る恐る足を踏み入れながら苗を手植えさせていただきました。みんなで植えた苗の成長を見守り続けて、10月にはたわわに実った稲を鎌をもって刈り取りました。生徒たちにとっては貴重な経験になりました。11月には収穫したお米を炊いて、おにぎりを握って食べました。自分たちで育てたお米で作ったおにぎりはとてもおいしかったです。

